

ホテルニューオータニのエコシステム

北京建築大学学生代表

見学日時：2019年6月4日（火）9:30-11:30

見学場所：ホテルニューオータニ東京

見学概要

この日の朝、私たちはホテルニューオータニのスタッフ同行の下、同ホテルのエコシステムを見学した。

私たちはまず生ごみの回収から有機肥料へと変えるプロセスを見学した。ホテルニューオータニでは内部で回収した生ごみを有機肥料にし、それらを野菜や米の栽培用に契約農家へ提供している。また育った野菜や米はホテルニューオータニに食用として供給されている。



スタッフによる処理後の有機肥料の紹介の様子

中水処理ではまず使用済みの水を中水処理設備に集める。中水処理においてカギとなるのは水槽及び水槽内の微生物であり、微生物は汚水中の細菌を分解し、分解できないものは沈殿池に入れられる。沈殿池の上層の水は濾過後トイレの洗浄用に利用される。処理後の浄水は木の樽に貯蔵される。ほとんどのホテルではステンレス製の樽で貯蔵をしているが、ホテルニューオータニでは木の樽を浄水の貯蔵用を使用している。木の樽には殺菌作用があることからホテルニューオータニは材料の使用に非常に気を配っていると言える。

次いで私たちは発電施設を見学した。発電装置は天然ガスタービン発電機で、天然ガスがタービンを動かし、羽根車の回転により発電をしている。同プロジェクトはホテルニューオータニ内部で発電を行うことで電力の節約と電気料金の節減につながっている。

最後に私たちはホテルニューオータニの日本庭園を見学し、滝の近くで集合写真を撮った。

なぜですか？

日本の庭園は中国の園林よりも自然の成長を重視しているため人為的な要素はあまりなく、中国の園林がわざと生み出す「移歩易景（歩を進める毎に景色が変わる）」の効果とは異なっている。積水ハウス総合住宅研究所の見学の際にスタッフからは、日本人は家を建てた後、その近くにもとからあった樹木を植え、本来の生態環境をなるべく壊さないようにするとの紹介があった。



感想

サービスや設備また環境についてはまず置いておき、ホテルニューオータニの環境保護への取り組みという点だけで私はすでに感服させられた。ホテルニューオータニはごみ、廃水、発電の三つの面から持続可能な発展と再利用を考慮し、ごみの排出を効果的に削減するだけでなく、コストの節約にもつなげるなど、環境そしてホテル自身の発展にも配慮をしている。環境保護の需要が急激に高まっている今日、ホテルニューオータニは世界のホテルが学ぶべき見本である。しかし最も大切なのは、こうした取り組みへの決心と勇気である。環境保護自体にもコストはかかり、ホテルニューオータニの各施設は20年間操業を続けてようやく当時の建設コストを回収し、収益を生み出し始めたのである。こうした長いスパンのプロジェクトを一体どれだけのホテルが実施することができるだろうか？この点から、ホテルニューオータニは環境保護のためにしっかりと運営されていることがわかる。

環境保護は簡単なものではないが、現在私たちはその第一歩を踏み出す勇気が求められている。企業であれ消費者であれ、今から環境に優しい手法を選んでも遅くはないのである。